



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2025.1月号

謹
賀
新
年

みょうえんじ うがじん 妙円寺の宇賀神

土屋の妙円寺境内に弁天堂があり、その下の岩屋に宇賀神の石像が安置されています。宇賀神は、人頭蛇身で弁財天の化身とされます。巳年には弁天堂の弁財天が開帳され、弁財天と宇賀神との間に「縁の綱」と呼ぶ紅白の綱が渡され、稚児行列が行われます。



謹んで新春のお慶びを申し上げます。また旧年の御恩顧にあらためて感謝申し上げます。

さて、お正月を迎えると、「明けましておめでとうございます」のあいさつを取り交わし、年が改まり無事に新年を迎えられた喜びを分かち合います。

お正月がおめでたい理由は、年が改まったことに加え、新年を迎えることをかつて「年取り」ともいったように、文字通り年齢を重ねる時であったためです。昭和25年施行の「年齢のとなえ方に関する法律」によって、誕生日を基準にした満年齢が一般化する以前は、お正月に皆がいっせいに年を重ねました。これを数え年といい、生まれたばかりの赤ちゃんをすでに1歳と数え、初正月に早くも2歳になったわけです。

「年を取る」とは、たんに年齢がひとつ増えるというだけでなく、一年を生きるための生命力を年神様が授けてくれると考えられてきました。ですからお正月は大切に、家へ年神様を迎えもてなし、新年が良き年になるように願ったのです。

平塚市博物館は昭和51(1976)年5月1日に開館しました。数え年でいよいよ50歳の大台に達しました。身体にだいたい痛み(故障)も増えてきましたが、適切な治療(修繕)を受けながら、皆さまに快適にご利用いただけるように努めてまいります。3月22日から開催する春期特別展「近代ひらつかの女性たち」をはじめ、本年も特別展やプラネタリウム、各種イベント等を通して、皆さまに新たな知の発見をお届けできるよう、職員一同取り組んでまいります。どうぞご期待ください。

皆さま方のご多幸をお祈り申し上げるとともに、本年も変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年乙巳正月

館長 浜野達也

うち お家をまわる神様・仏様

会期：1月18日(土)～3月16日(日)

秋期特別展「お家をまわる子育て地蔵」は閉幕しましたが、その内容をぎゅっとまとめたポスト特別展が、情報コーナーで始まります！

市内を回っていた回り地蔵の写真や、市内各地で結成されていた庚申講や地神講などで使用していた道具を展示します。講の道具にある掛軸には、信仰対象となる神仏の姿が描かれています。これらは、地域内の家から家へと回されていました。

まだまだ特別展を見たいという方も、見逃した方も、ぜひお越しください！



▲平塚市岡崎の西海地と入山瀬の回り地蔵がまつられている様子



平塚市大島西組の地神講掛軸▶

博物館でセートバレー

1月14日の周辺の土日では、市内各地でドンドヤキが行われます。これは、市内ではセートバレーなどとも呼ばれます。

現在は、お正月のお飾りを集めて燃やすだけのことが多いですが、かつては道祖神にオカリヤといって、ワラで作った小屋を作る地域もありました。ここで、子どもたちがこもってお参りに来た大人たちにお神酒とゴック（お菓子）をふるまいました。

というわけで、去る12月14日に行ったお飾り作りの一環として、オカリヤを作ってお飾りと一緒に燃やすまでの流れを博物館でも実演します。当日は見学のみになりますが、興味のある方はぜひお越しください！

- 日時：1月11日(土) 午後1時～4時30分
- 講師：今井隆氏
- 場所：博物館屋外展示場
- 備考：開催時間内に来ていただければ、見学ができます。

ご家庭からの正月飾りの持ち込みはできません。



▲子どもたちのおこもり 平成8年(1996) 下吉沢下宮下



▲平塚八幡宮でのドンドヤキ 平成19年(2007) 1月14日

ろばたばなし

博物館1階の古民家の座敷で、語り手が平塚に伝わる話を含めた昔話などをお話します。

- 日時：1月26日(日) 午後3時15分～3時45分
- 場所：博物館1階 相模の家
- 備考：開始時間までに相模の家にお越しください。

ろばたばなしの様子▶



学芸員が語る
相模の家の暮らし

「お正月」

博物館1階の古民家の座敷で、平塚市内のお正月についてお話しします。

- 日時：1月26日(日) 午後1時15分～1時35分
- 場所：博物館1階 相模の家
- 備考：開始時間までに相模の家にお越しください。

歳神棚 平成9年(1997)1月 平塚市上吉沢台▶



平塚郷土史入門講座 村の生業と政治・文化

平塚の郷土史の基礎的な知識を学ぶ講座。今年度は平塚市域にのこされた古文書から、村の生業や政治の仕組み、生活文化など、江戸時代の村人の暮らしの実相に迫ります。

- 日程：第1回 江戸時代の村の生業 1月26日(日)
- 第2回 江戸時代の村の政治 2月23日(日)
- 第3回 江戸時代の村の生活と文化 3月23日(日)
- 時間：各回午前10時～11時30分(開場は9時45分)
- 会場：博物館1階講堂
- 講師：早田旅人(当館学芸員)
- 定員：60人(参加自由)



大神村(平塚市大神)の旧家に伝わる手習い本

相模川流域ジオツアー入門「纏の微地形と水害」

毎年好評をいただいている「相模川流域ジオツアー入門」は、相模川流域を中心とした地域の地形や地層、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという企画です。

今回歩くのは、旭地区の纏(まとい)周辺。金目川沿いの水害リスクや、現在でも残る水防に関わる遺構などについて、現地を歩いて観察します。

- 日時：2月1日(土) 午後1時15分～4時頃
- 場所：長持～纏～南原土手
- 定員：20人
(応募多数時は平塚市内在住者を優先し、抽選を行う)
- 申込：往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入)
または、博物館ホームページのWebフォームから申込。
- 締切：往復はがき：1月17日(金) 当日消印有効
応募フォーム：1月20日(月)
- 備考：雨天時は博物館内で講義を実施



▲水防のために築かれた控え土手(纏)。



▲2021年に長瀬バス停が流された金目川左岸(南原)。

★1月のプラネタリウム ☆

★幼児向け投影:

タケルくん、ひるとよるはどうしてあるの?

「ひるとよるはどうしてあるの?」……そんな素朴な疑問を、タケルくんの一日をとおして考えてみましょう!

■投影日:

1月4日(土)～4月5日(土)の 土曜日 午前11時～



☆一般向け投影:2025年の天文現象

毎年恒例、今年1年間に見られる天文現象を紹介する番組です。プラネタリウムのシミュレーション機能を使って、火星の接近や皆既月食、星食、土星の環の消失現象などを再現します。今年は天文現象が盛りだくさん!

■投影日:

1月26日(日)までの 土曜日 午後2時～
日曜日 午前11時～、午後2時～

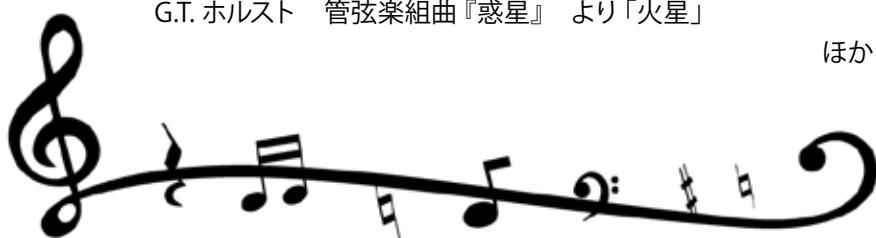
◆特別投影: 星空音楽館♪「戦いをもたらすもの」

「星空音楽館」はクラシック音楽を聴きながら、ゆったりと星空や映像をご覧ください。今年度は季節に1回投影。

冬=1月12日(日)の回は、この日に地球に近づく火星がテーマ。火星の英語名 Mars は軍神マルスが由来。そこで戦争にまつわる曲を聴きながら火星の不思議な動きや素顔に迫りましょう。

■投影日:1月12日(日) 午後3時30分～

■予定曲:F.J.ハイドン 交響曲第100番ト長調 Hob. I:100『軍隊』より
J.M.ラヴェル 『クーブランの墓』より
G.T.ホルスト 管弦楽組曲『惑星』より「火星」



ほか



今年ラヴェル生誕150周年。彼の曲も取り上げます。

1月	月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4	5
11時						★	☆
14時						☆	☆
	6	7	8	9	10	11	12
11時						★	☆
14時						☆	☆
15時30分							◆
	13	14	15	16	17	18	19
11時						★	☆
14時						☆	☆
15時30分						◆	
	20	21	22	23	24	25	26
11時						★	☆
14時						☆	☆
	27	28	29	30	31		
11時							
14時							

☆:一般向け投影 ★:幼児向け投影 ◆特別投影



▲2022年に見られた皆既月食
今年も3年ぶりに皆既月食が起こる。

◆特別投影：ひらはくオールスターズ 宮野 彩さん（富山市科学博物館）

プラネタリウム誕生 100 周年を記念して、平塚市博物館にゆかりがある人を招いてのゲスト投影「ひらはくオールスターズ」。今年度第3回は、当館の元投影アシスタント、かつ元博物館実習生で、現在は富山県富山市にある富山市科学博物館で学芸員を務める宮野彩さんの登場です。はたしてどんな内容になるのでしょうか？ご期待ください！



■投影日：1月18日（土） 午後3時30分～

◆特別投影：星空散歩

「星空散歩」は50分間すべて星空についてお話をする投影です。2月～3月に見られる星座（平塚からは見えない南天の星座も！）や天文現象を紹介します。3月に見られる「すばる食」（月がすばる＝プレヤデス星団を隠す現象）や土星の環の消失の話も。八王子さんオリジナルのカラー星座絵が登場、投影も彼女との掛け合いです！

来場者には八王子さん星座絵の缶バッジをプレゼント！

■投影日：2月1日（土） 午後3時30分～

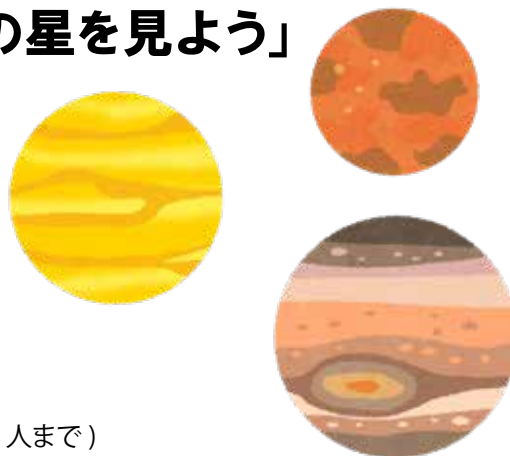


- ・定員：70人／自由席
- ・投影日時：上記の表を参照（投影は午前11時～と午後2時～／特別投影は午後3時30分～） 各回50分間
- ・観覧料：200円（18歳未満65歳以上の方は無料／65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください）
午前11時の回、午後2時の回、特別投影の整理券を当日午前9時から受付で配布（代表者のみでも可、5枚まで）
午前11時の回は午前10時15分から、午後2時の回と特別投影（午後3時30分の回）は午後1時15分から観覧券を販売。
- ・観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始15分前までに3階のプラネタリウム室にお越しください。
- ・番組の内容は急遽変更になる場合があります。 ・投影開始後のご入場、途中退出はできません。



星を見る会「金星、火星、木星と冬の星を見よう」

夕方の空で圧倒的な存在感を放っている宵の明星・金星。2年2か月ぶりに観望好機を迎えている火星。そして毎年のように安定した輝きを見せてくれている木星。太陽系の惑星の三者三様の姿を望遠鏡で楽しみましょう。



■日時：2月14日（金） 午後7時～8時30分（雨天曇天中止）

■場所：博物館屋上

■定員：80人（応募多数時は市内在住者を優先し抽選）

■申込：往復はがき（行事名・氏名・住所・電話番号を記入、1通につき4人まで）

または、博物館ホームページのWebフォームから申込

（下記のQRコードもご利用ください）

■締切：往復はがき：1月31日（金）当日消印有効 / Webフォーム：2月2日（日）



1	水	休館		
2	木	休館		
3	金	休館		
4	土	祭りばやし研究会	科学教室	☆
5	日			☆
6	月	休館		
7	火	聞き書きの会	科学教室	
8	水			
9	木	古代生活実験室	科学教室	
		石仏を調べる会	特別研究室	
10	金	古文書講読会	講堂	
		東国史跡踏査団	野外	
11	土	天体観察会プラネタリウム分科会	プラネタリウム	☆
		◎ 博物館でセートバレー	屋外	
12	日	地球科学野外ゼミ	講堂	☆
		◆ 星空音楽館	プラネタリウム	
13	月	祝日開館		
14	火	振替休館		
15	水	裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	講堂	
16	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
		古文書講読会	講堂	
17	金	祭りばやし研究会	科学教室	
		▽ 星を見る会	屋上	
18	土	地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	☆
		◆ 特別投影「ひらはくオールスターズ」	プラネタリウム	
19	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	
		生き物ズームプロジェクト	特別研究室	☆
		天体観察会プラネタリウム分科会	プラネタリウム	
20	月	休館		
21	火			
22	水			
23	木	石仏を調べる会	講堂	
24	金	古文書講読会	講堂	
25	土	流星観察会	講堂	☆
		天体観察会天文学分科会	講堂	
		天体観察会定例会	講堂	
26	日	◎ 郷土史入門講座	講堂	☆
		◎ 相模の家のくらし	相模の家	
		◎ ろばたばなし	相模の家	
27	月	休館		
28	火	天体観察会太陽分科会	講堂	
		聞き書きの会	科学教室	
29	水			
30	木			
31	金	月末休館		

1	土	◆ 星空散歩	プラネタリウム	☆
		祭りばやし研究会	科学教室	
2	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室	☆
3	月	休館		
4	火	聞き書きの会	科学教室	
5	水			
6	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
		古代生活実験室	科学教室	
		古文書講読会	講堂	
7	金	◎ 文化祭行事 ひらつか おもしろ話 いい話(文化祭期間中毎日実施)	寄贈品コー ナー前	
		東国史跡踏査団	野外	
8	土	◎ 第24回博物館文化祭活動報告会	講堂	☆
		天体観察会天文学分科会	特別研究室	
		天体観察会定例会	講堂	
		地球科学野外ゼミ	野外	
		天体観察会カノーパス観察会	野外	
9	日			☆
10	月	休館		
11	火			
12	水			
13	木	石仏を調べる会	講堂	
		古文書講読会	講堂	
14	金	○ 星を見る会	屋上	
		地域史研究ゼミ	特別研究室	
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室	
15	土	○ 特別投影+舞台挨拶「VTuber 星見ま どかと探る 太陽系の衛星のヒミツ」	プラネタリウム	☆
		◎ 文化祭行事 太陽黒点をみよう	屋上	
		◎ 文化祭行事 古民家でお雑子を聴こう!	相模の家	
		◎ 館長の民俗学入門	講堂	
		生き物ズームプロジェクト	野外	
16	日	天体観察会プラネタリウム分科会	プラネタリウム	☆
		◆ 会員によるプラネタリウム投影	プラネタリウム	
		◎ 文化祭行事「平塚の古代を学ぶ会」見学会	科学教室	
17	月	休館		
18	火	聞き書きの会	科学教室	
		裏打ちの会	科学教室	
		民俗探訪会	講堂	
		◎ 文化祭行事「聞き書きの会」見学会	科学教室	
19	水	◎ 文化祭行事「民俗探訪会」見学会	講堂	
		◎ 文化祭行事「裏打ちの会」見学会	科学教室	
20	木	展示解説ボランティアの会	講堂	
21	金	古文書講読会	講堂	
		祭りばやし研究会	科学教室	
		天体観察会プラネタリウム分科会	プラネタリウム	
22	土	◆ 文化祭行事 会員によるプラネタリウム投影	プラネタリウム	☆
		◎ 文化祭行事 土器焼き見学会	屋外展示場	
		◎ ろばたばなし	相模の家	
		◎ 郷土史入門講座	講堂	
23	日	◎ 地球科学入門講座	講堂	☆
		○ 講演会「すばる望遠鏡最新観測装 置“PFS”で探る宇宙」	講堂	
24	月	祝日開館		
25	火	振替休館		
26	水	天体観察会太陽分科会	講堂	
27	木	石仏を調べる会	講堂	
28	金	月末休館		

1月の休館日：1(水)～3(金)、6(月)、14(火)、
20(月)、27(月)、31(金)

☆：プラネ(プラネタリウム)投影日 ◎：申込制行事 ▽：申込終了
◎：当日整理券・自由参加 ◆：プラネ特別投影 無印：年間会員制
プ：プラネ一般投影 特：特別展 寄：寄贈品コーナー展示 情：情報コーナー展示

【来館のご案内】

入館料：無料
開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
プラネタリウム観覧料：200円(減免などの詳細は5ページ参照)
休館日：月曜日(祝日の場合は火曜日に振り替え)
月末日(特別展開催期間や土・日曜日は開館) X▶
年末年始・くん蒸・点検等 (旧Twitter)
その他、予告なく休館する場合がございます。ご了承ください。



平塚市のLINE、平塚市博物館のX(旧Twitter)でも情報を発信しています。
LINE：平塚市公式LINE (@hiratsukacity) / X(旧Twitter)：平塚市博物館【公式】 (@hirahaku_)



YouTube HIRAHAKU
チャンネル では、様々な動画を公開中!



あなたと博物館 52巻10号 通巻576号 発行 平塚市博物館 2000
〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949 ホームページ <https://www.hirahaku.jp/>

